

一級河川北上川水系 長者川 化女沼ダムの効果(令和4年7月12日~14日)【速報】

宮城県

○化女沼ダムでは、令和4年7月12日~14日にかけて、低気圧に伴う大雨により、**流域平均の累計雨量が98mm**、**最大時間雨量では18mmを記録しました**。これによるダムへの最大流入量は、計画97m³/sに対し、13.66m³/sを記録しました。

○今回の洪水調節により**最大流入時の92.6%(12.65m³/s)を貯留し**、下流河川の水位上昇を軽減しております。

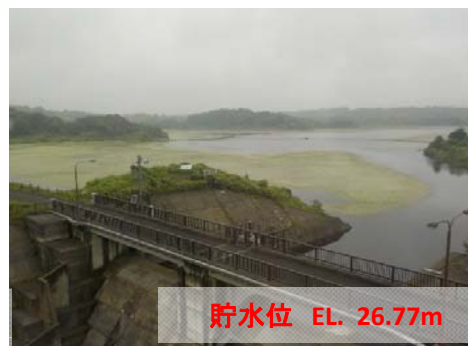
ダムの位置図



ダムの状況写真



洪水前 6月20日 14時40分



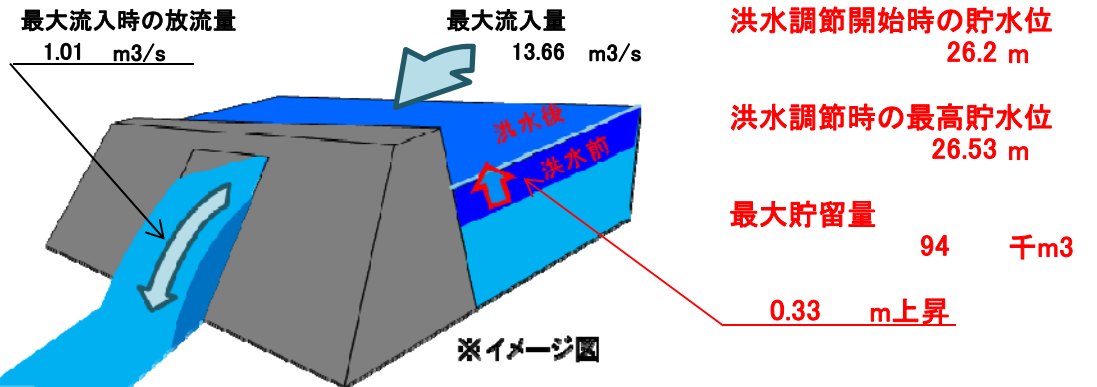
洪水後 7月14日 11時00分

化女沼ダムの洪水調節実績

・洪水調節 開始	13日 9時 40分	終了	13日 12時 50分
・ダム流域累計雨量	98 mm	(12日 22時 ~ 13日 20時)	
・最大時間雨量	18 mm	(13日 9時 ~ 13日 10時)	
・ダムへの最大流入量	13.66 m ³ /s	(13日 12時 50分)	
	(8位/20洪水)		
・最大流入時の放流量	1.01 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量	12.65 m ³ /s	(約 92.6%)	

化女沼ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の **92.6%** をダムに貯留しました。



○化女沼ダムの洪水調節等により、この大水門橋地点で、**水位を約0.47m低減させる効果**があったものと推測されます。

下流河川の状況写真



水位 0.41m 流量 3.13m³/s

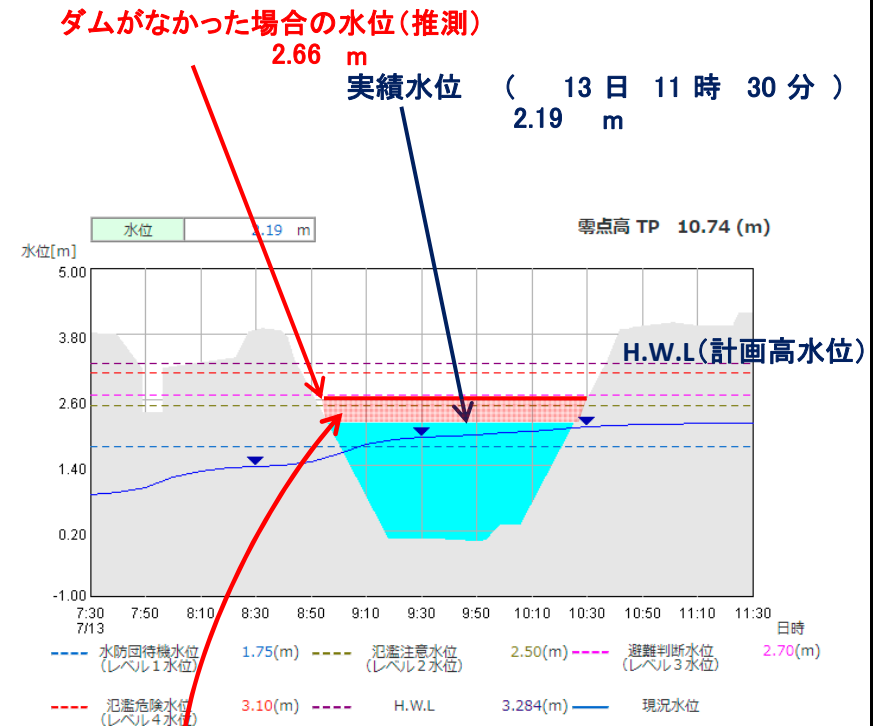
大水門水位観測所(洪水前 7月5日11時20分)



水位 0.55m 流量 4.26m³/s

大水門水位観測所(洪水後 10月14日12時00分)

田尻川(大水門地点)の水位低減効果



ダムにより約0.47mの
水位低減効果を推測